

“私たちは公共物を大切にしましょう”

ととり市報



(鳥取市民憲章)

鳥取12景(その八)

岩坪の滝

バスの終点から二、三分上ると、大きな鹿の子木の森に石鳥居が見え、溪流が岩に砕ける音が近い、一歩鳥居をくぐると、黒い岩はだに白い帯となって落ちる滝がある。村の名岩坪のもとになったといわれるこの滝の岩壺は、学問的には願穴と呼ばれ、中国地方では稀に見る大きなものであるという。水は澄みきって冷たく心地よい刺激を与える。切り立った岩には可憐な花がのぞいていた。

8月のこよみ

危険物施設定期査察	月間
防火査察	月間
病院、保育所等定期象物査察	月間
津ノ井地区防火対象物査察	月間
青少年夏期街道補導	月間
第6回市民体育祭	月間
終戦記念日	15日
立秋	8日
立	6日
原爆記念日	8日

- ★第3次漁業センサス準備調査(1~5日賀露)
- ★第1回農業委員会臨時総会(2日)
- ★第2回久松山立木調査(上旬, 久松山)
- ★稲熱病発生状況調査(上旬, 全市)
- ★農業被害対策連絡協議会(上旬)
- ★第12回全国部落問題夏期講座(上旬, 体育館)
- ★市モデル, キャンプ(上旬, 小沢見)
- ★農業構造改善事業推進部落座談会(中旬, 豊実外)
- ★少年野球大会(9-11日, 公設グラウンド)
- ★第10回鳥取市畜産共進会(10日, 古市)
- ★花火大会(15日千代河原)
- ★鳥取市農村青年協議会(中旬, 白砂)
- ★労働組合体育大会(上旬一下旬体育館ほか)
- ★農林構造改善事業先進地調査(下旬)

8

1963 No.136

37年度に3514万の黒字

この財政概況報告書は、昭和37年度決算見込の状況と、昭和38年度予算の内容及び、6月30日までの執行状況を説明したものであります。
なお津ノ井村との合併により旧津ノ井村の決算の状況についても、併せて記入しましたので、みなさんに市財政の現況を、ご理解していただき、一層のご協力を、お願いする所でございます。

市財政の概況

昭和38年度の国の予算は国民生活の水準の向上と地域開発の促進、地域格差の是正を基本方針として、編成されたのでありますが、本市においては、「健康都市建設」と、「谷間のない市政」を、行政の二大支柱として全市民一人一人の福祉に至るまで均等の施策を構じ行政水準の向上を計る諸施策を重点として予算の編成を行いました
昭和38年度当初予算は、一四億五千四百三拾六万円となり前年度より二億五千九百五拾六万円と二一、七%の増加を示し、国の一七、四%、県の一九、〇%の伸長率をはるかに上廻る大型予算を編成しましたがその内容は投資的建設経費が予算総額の三七%と、前年度決算見込の三三%をより四%多く、一方市税収入は予算総額の三七、二%で前年度の三八、二%より下っているという現状であります。

なお昭和37年度の決算見込では、一般会計で三、五一四万円の黒字をみ、国保会計は10数年来の赤字を解消し、八八〇万円の黒字となり鳥取市全会計を通じて黒字とい

う健全財政運営の実現を見たのであります。こゝに三億有余の赤字をかかえて再建がやぶまれたあの窮迫財政の中から「明るい市政」をモットーとして各種建設事業を進めながら健全財政の基盤を確立することができました。

加うるに後一年で再建期間が満了し、積極施策の遂行と財政の自主運営のできる明るい見透のついたこの時に、津ノ井村を合併して更に経済圏の拡張を図ると共に、自治体の基礎を強化することとなりましたので今後一層市民の福祉向上のために諸施策遂行にご協力をお願いする次第であります

37年度の決算

一般会計

昭和37年度の決算の概況は第一表、第6表及び、第4図で説明申上げておりますが、その後公共事業等の決定による追加更正をはじめ各種事業の遂行に要する諸経費等の追加により一三億〇一四二万円の最終予算となります。これに対して

歳入

一三億〇、二二四万円

歳出

一二億六、二八三万円

差引

三、九四二万円

の決算となりましたが、市

庁舎建設費等、昭和38年度に事業を繰越した事業費財源を差引きいたしますと、実質三、五一四万円の黒字となります。第6表は昭和37年度に実施いたしました建設事業を説明した表であり、終末処理場の建設、立体交差、小中学校建設整備、住宅建設、災害復旧事業等の積極的事業を実施いたしてまいります。一方人事院の給与改定の勧告による人件費の増額に応じつゝ、行政の合理的運営に努力して健全財政の方針に徹してきました。

その性質別に分類したものが、第4図で相変らず公

債費が13%と多額の割合を占めておりますが、財政再建債の償還の後一年にこぎつけて、昭和38年度予算では12%に下り、更に昭和40年度からは10%以下になるという、明るい見透となっております。

このようなことも市民みなさんのお力添えあってできたことであり、皆さんとともに喜ばしいことであります。

(第1表) 37年度会計別決算見込額一覧表 (単位千円)

会計別	歳入	歳出	差引	翌年度へ繰越すべき財源	繰越実収入
一般会計	1,302,249	1,262,838	39,411	4,266	35,145
一 地区整備	34,130	30,425	3,705	—	3,705
二 公民館兼体育館	2,500	2,500	0	—	0
三 中央施設	10,977	10,918	59	—	59
四 養老施設	2,273	1,512	761	—	761
五 国簡	133,482	124,676	8,806	—	18,806
六 水	3,168	3,121	47	—	47
七 計	1,488,779	1,435,990	52,789	4,266	48,523

特別会計

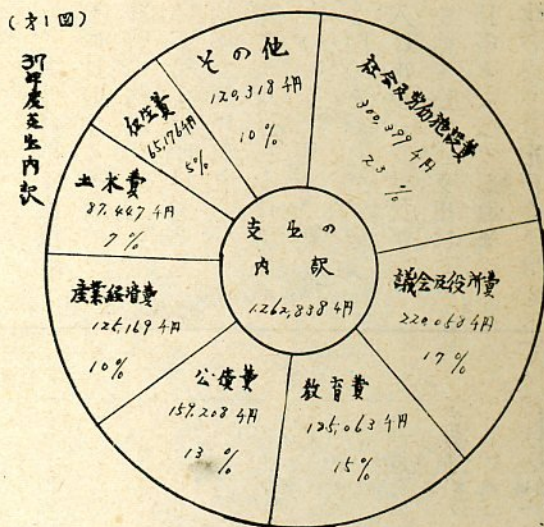
国保も八八〇万の黒字

国保会計は時代の要求に伴って、抗生物質等新薬の使用制限緩和と、受診率の向上により10年来引続いてきた赤字も再建4ヶ年計画の完了によって、事業勘定で一四〇五万円、直診勘定の赤字を差引いて実質八八〇万円の黒字となり今後、給付率の向上等保険内容の充実に大きく第一歩を踏みだそうとしております。

（休養施設事業（砂丘荘）

は事業開始以来、時代の脚光をあびてその利用者数も増加の一途をたどり、将来の見透し良く10月10日事業会計へ切り替えたもので、その時点の均衡ある決算を示したものであります。

中央公民館兼体育館建設費は、寄附金が予定どおり納入されないので、年々繰越され、一般会計からの繰入金により本年度限り特別会計を打切ったものであります。寄附金未納の各位には一層のご協力により完納されるよう、お願い申し上げます。



旧津ノ井村分

昭和37年度決算については、第2表のとおりですが、これは合併のため出納閉鎖の4月21日を以って決算したものでその後、昭和37年度分として国県支出金を36万円、鳥取市に受け入れております。

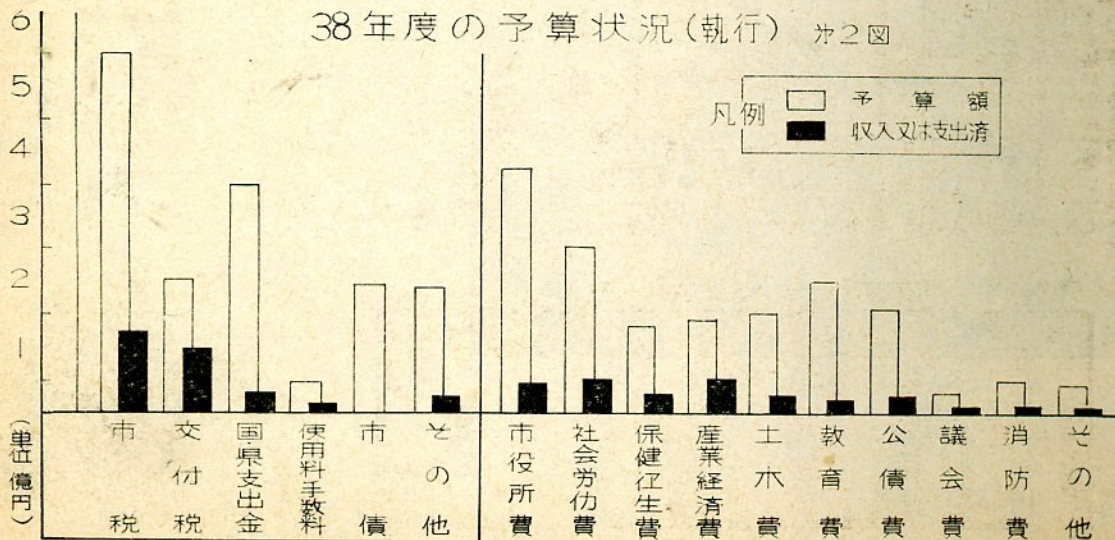
津ノ井村は昭和34年度に

（第2表） 37年度会計別決算見込額一覧表 (津ノ井分)(単位 千円)

会計別	歳入	歳出	差引	附記
一般会計	20,770	21,556	△ 786	翌年度歳入繰上充用金で補てん
国保	4,483	3,087	1,396	
簡易水道	1,795	1,710	85	
災害救助資金	36	36	0	
計	27,084	26,389	695	



38年度の予算状況(執行) 表2図



38年度の予算状況

市税の負担

庁舎建設、立体交差、敬生寮、日進、北中改築など

昭和38年度予算について

は、当初予算が一四億五、四三六万円であり、経済の成長に伴って前年度より二億五、九五六万円と非常に大きく伸びてきました。更に市庁舎建設等の事業繰越分と津ノ井村の合併とによる2回の追加予算により現計15億を突破する大予算となりましたが、その事業内容は第5表に示すとおりであり、「健康都市建設」と、「谷間のない市政」の二大指針によって積極的に織込んだ施策で、庁舎建

設、立体交差、終末処理場第2期工事、北中、日進等文教施設

の整備、道路橋梁

等の建設整備、公営住宅の建設、敬生寮の改築、同和事業等、各般にわたる建設事業を実施し全市民の福祉の向上に意を注いだものであります。

なお昭和37年度決算に比較する投資的経費の構成比の上昇は、第4図に示すとおりであります。また六月三十日現在の執行状況は、第2図のとおりで、歳入は市税と交付税が主体で18%、支出は15%となっております。

市税の負担の状況及び収納の状況については第3表、4表に示すとおりであり経済の成長等により自然増になっており、市民一人当たり四、八六五円、一世帯当り

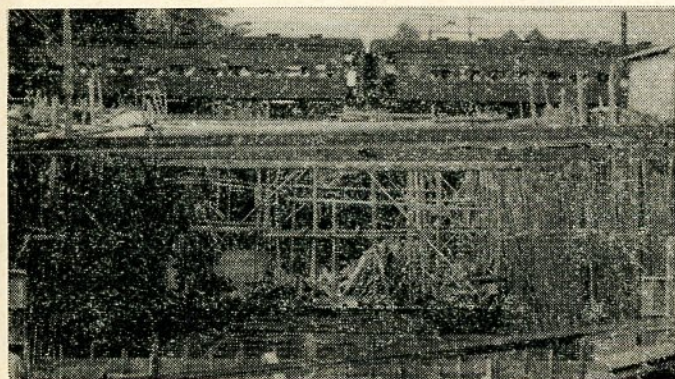
一八、七五八円の負担となっており、収納の状況は年とともに好成績をあげておりますが今一層のご協力をお願いいたします。

(第3表) 市税の負担状況 (単位 円)

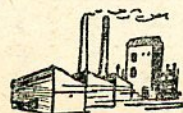
年度	36		37		38	
	1人当	1世帯当	1人当	1世帯当	1人当	1世帯当
市固	1,492	6,084	1,987	7,700	2,303	8,880
定	1,481	6,040	1,593	6,176	1,603	6,181
ば	369	1,500	441	1,708	455	1,754
電	354	1,445	389	1,507	398	1,533
気	79	323	94	365	106	410
そ						
合	3,775	15,392	4,504	17,456	4,865	18,758

(第4表) 市税の収納状況 (単位 千円)

年度	36			37			38			
	調定額	収入額	%	調定額	収入額	%	調定額	定額	収入額	%
市固	186,108	167,687	90	237,941	217,127	91	257,042	279,005	29,012	10
定	196,957	170,884	87	199,911	177,068	88	195,699	195,970	47,832	24
ば	40,525	40,525	100	48,317	48,317	100	13,750	13,750	13,750	100
電	39,027	39,027	100	42,625	42,625	100	11,198	11,198	10,602	95
気	12,492	9,349	75	12,907	10,174	79	31,294	31,294	15,796	50
そ										
合	475,109	427,472	90	541,701	495,311	91	508,983	531,217	116,992	22



建設中の立体交差



- 山林原野 一〇二反二畝
- 宅地 一六、七〇〇坪
- その他 一〇八万九、一〇〇坪
- 現金 四、四四九万円
- 有価証券 四、七八八万円
- (行政財産)
- 土地 庁舎ほか三六、四六五坪
- 公営住宅四九、六三九坪
- 公園 七、八五三坪
- 建物 庁舎ほか 一四、一四坪
- 公営住宅一五、五二〇坪
- 公園 七三坪
- (教育財産)
- 土地 小中学校 九二四二五坪
- 公民館他 七五二五坪
- 公設運動場 三六八六坪
- 建物 小中学校 三〇、四七二坪
- 公民館他 二六〇五坪

財産と市債、一時借入金のように、財産と公債は次のとおりであり、一時借入金については年度当初の円滑なる財政運営を図るために郵政省から借り入れた五、〇〇〇万円であります。

(基本財産)

- 土地 二二六反歩
- 有価証券 三五、六一〇円
- 現金 二一三万八、九五七円
- (普通財産)
- 田畑 三三反六畝

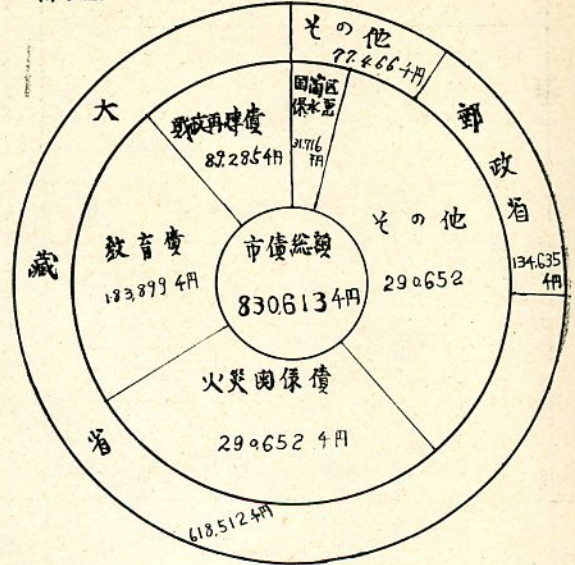
(第5表) 38年度に実施する事業

(単位 千円)

事業名	金額
1. 普通建設事業	478,427
(1) 補助事業	309,593
都市計画街路事業	75,000
下水道建設事業	21,000
終末処理場	70,000
義務教育施設整備事業	73,949
小学校プール建設事業	3,595
鳥取城跡整備	1,000
消防施設	3,470
保育所建設	3,965
児童厚生施設	500
同業	8,854
公営住宅建設事業	22,613
住宅施設改良	573
駅前都市改造	2,000
敬生寮増改築	18,837
造林	177
学校給食施設整備	4,633
(2) 単独事業	168,843
経営改善機械購入費	3,300
庁舎建設事業	128,549
清掃車購入	2,100
成人病医療機械購入費	2,821
沿岸漁礁建設事業	200
林道設置	2,087
老朽溜池補強	200
土地及水路改良事業	4,705
道路新設	8,914
橋梁	5,500
観光施設整備	3,859
建設機械購入	6,600
2. 災害復旧事業	27,453
(1) 補助事業	27,453
耕地災害復旧事業	26,383
災害土木	1,070
3. 事業負担金	1,200
(1) 邑法一中建設事業	1,200
4. 失業対策事業	45,478
(1) 補助事業	45,478
5. 特別会計	63,172
駅南土地区画整理事業	55,000
火災復興土地区画	8,172
合 計	616,333

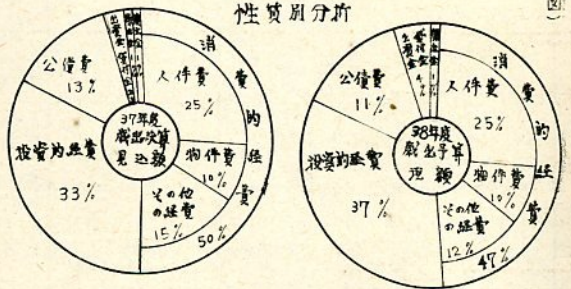
市債の内訳

(表3図)



(表4図)

性別分析



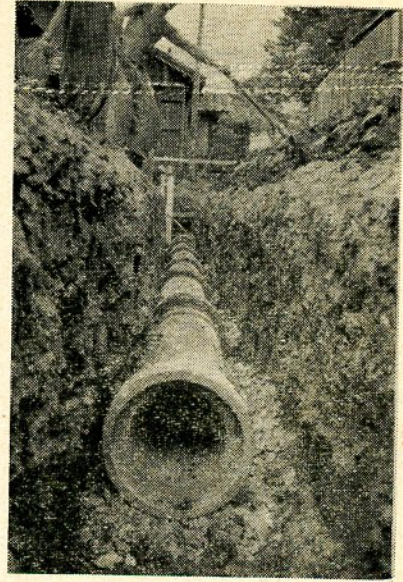
以上昭和37年度の決算見込の状況と、昭和38年度予算及びその執行状況について、ご説明申し上げました。明申し上げました。明申し上げました。ご理解とご検討下さいまして、明後一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

税制調査特委を設置
全議員で構成
臨時鳥取市議会が7月22日から3日間に亘って開かれ、長雨被害対策費四百八十一万九千円の追加予算、市民税減税請願についての特別委員会設置の問題などが審議された。市民税の問題は、鳥取市にとって重要なことであるので、市議会議員全員で研究をし、充分に討議をするため、全議員36名で「鳥取市税制調査特別委員会」をつくることに決まりました。

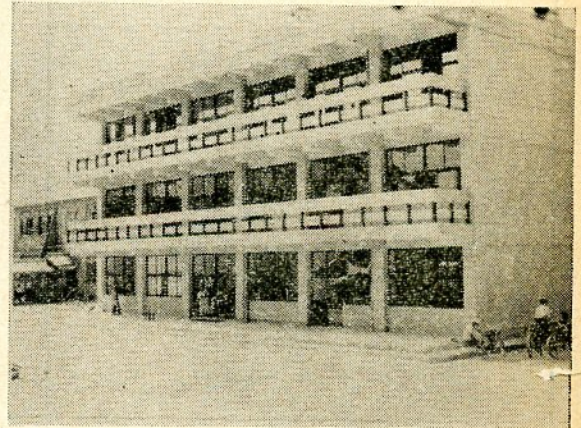
(第6表) 37年度に実施した事業

(単位 千円)

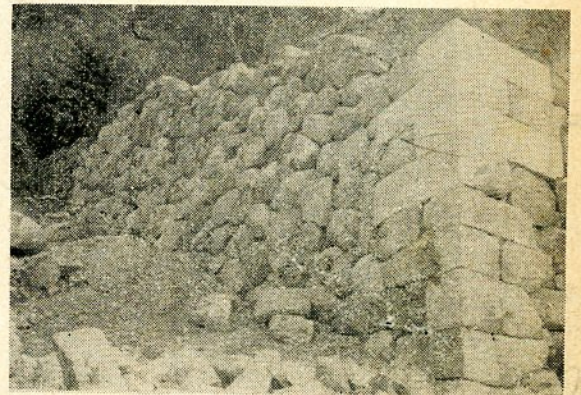
事業名	金額
1. 普通建設事業	286,905
(1) 補助事業	252,575
都市計画街路事業	47,000
消防施設整備	5,115
下水道建設	15,000
義務教育施設整備	68,935
終末処理施設	32,000
母子寮建設	9,488
公営住宅	8,564
住宅地区改良	44,211
学校給食施設整備	6,930
同和	3,425
文化財保護	1,000
小団地開発整備	266
造林	158
海岸砂地造林	483
(2) 単独事業	34,330
市庁舎建設事業	850
道路新設改良	5,343
橋梁	1,922
土地及水路	2,603
区画整理整備	1,000
林道設置	1,211
老朽溜池補強	197
保育所建設	702
泉源開発	502
国有林払下に伴う土地買収費	20,000
2. 火災復旧事業	63,521
(1) 補助事業	56,909
34年災害土木復旧事業	931
34年耕地災害	52,217
36年	1,393
36年小中学校	1,616
林道	752
(2) 単独事業	6,612
36年耕地単独災害復旧事業	6,612
3. 事業負担金	19,226
邑法一中建設事業負担金	1,402
道路河川鳥取港事業	17,824
4. 失業対策事業	43,133
(1) 補助事業	43,133
5.	44,463
駅南土地区画整理事業	24,058
火災復興	6,366
簡易水道建設	3,121
休養施設整備	10,918
合 計	457,248



下水道管理設工事



完成した北中校舎



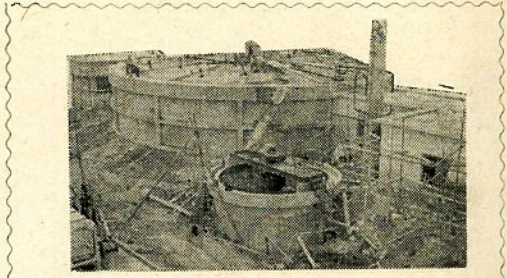
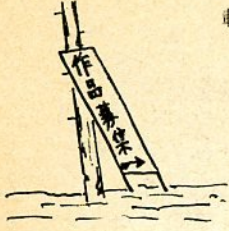
鳥取城跡石垣工事

「市民作品」コンクール

鳥取市では、清く明るく、住みよい鳥取市を実現すべく、産業・保健・教育・文化・建設・民生などの各般にわたって、市民の総ての生活環境の諸問題を改善し、健康で文化的なものを市政の親柱としていま

市政ニュース

送付先 鳥取市役所秘書企 画課 賞品 優秀作品には市長 から賞状と賞品を贈りま す。表 号、並びに日刊新聞に掲載



終末処理場完成近し

丸山三叉路西側に昨年八月から建設中であつた、終末処理場がいよいよ今月中に完成することになりました。

建設日記

下水道管理設工事

この工事は、丸山三叉路西側に昨年八月から建設中であつた、終末処理場がいよいよ今月中に完成することになりました。

今年度も下水道管理設工事はじめられます。埋設する箇所は、丸山三叉路西側の町内の方、また附近の方々には、しばらくの間、ご迷惑をかけますが、ご協力下さい。

- ★第一工区 吉方一、二丁目 立川一、二丁目
★第二工区 御弓町、大工町
★第三工区 立川一、二丁目
★第四工区 湯所町二丁目

夏の保健衛生

赤痢、疫痢、腸チフス、日本脳炎、ジフテリアなどの伝染病が多発し易い季節です。

- 1. 食べ物清潔で新鮮なもの
2. 飲みすぎ、食べすぎをしない
3. 手洗い、うがいの励行
4. 寝冷えをしない
5. 肌着はいつも清潔なもの
6. 蚊や、ハエ、ゴキブリ、ネズミなどの駆除
7. 直射日光を長時間受けない
8. 帽子をかぶる
9. 睡眠は充分にとる

弱視をなくしましょう

医学の躍進により眼病のなかで、いちばん多かったトラコーマも、急速に減りようこぼれていきます。

この弱視児童たちは、両眼弱視の場合は、盲学校へ通学しますが、片眼弱視の児童は不自由をしながら治療もせず健康な児童と一緒に授業を受けており、県内でもその児童が随分いるものと考えられています。

また、このように早期治療を行つてみると弱視患者の全部がよくなることは云わず、よくなる割合はだいたい三人に一人の割合です。

「弱視とは」眼の病気の有無にかかわらず、視力が〇・〇四から〇・三までのものをいいますが、岡山大学附属病院眼科が岡山市内の小、中学校生徒七千三百人を検診したところ、弱視児童が四十一人も発見されま

そこで鳥取市では近く弱視検診、治療用の諸器械を購入し市立病院に備えて治療することになりました。

児童達にとって夏休みも明け第二学期の初めには、町内会、区長会、そして各学校等を通して「弱視をなくす運動」が展開されます。

児童生徒科学作品 展覧会開催 小、中学生は全員参加しよう

鳥取市科学振興会発足20周年を記念し、将来を背負う市内の小中学校児童生徒の夏期休暇中の作品及び一般作品を展示し、科学による関心と、研究意欲を増大するため科学教育の振興と、科学技術の向上をはかるための要項により開かれます。

後援 日本海新聞社 立科 学博物館 市科学教育研究会 期日 昭和38年9月11日 13日 時間 午前9時〜午後5時 30分

- ① 動植物の採集標本 理科工作 研究記録 発明工夫作品 その他
② 各校は出品点数の一例程度の作品に50字以内の説明を附す 見所 苦心等
③ 出品目録は9月5日(木)午時中に市教委に提出のこと
④ 展示方法
⑤ 小中学校別学年別 出品者には参加賞を贈る

水道局に電話が増設されました 五〇七五番

これまでゴミ集めは人員不足と、清掃車がたりないため、思うように収集することができず、したがって計画的に巡回することが困難な状態でしたが、最近、清掃職員を一三名新採用し一方清掃車も二台増車して計画的にゴミの収集にあたることになりました。

若桜街道(駅—中電園)は週三回。未広通り、智頭街道、県庁前、鹿野街道、西町、吉方などおもな市街地は週二回、その他の町は週一回とし次のように計画日を決め収集します。この回数は今後増やす計画です。

定期結核健康診断を受けよう

明るい家庭は健康から

先月号でもお知らせしましたが引き続き健康診断が実施されており、一家揃って健康で明るい生活をするために該当者はもちろん受診しましょう。料金は無料です。

◎該当者
ツベルクリン注射Ⅱ生後三ヶ月から、小学校入学前までと、三十才までの陰性者

◎レントゲン撮影Ⅱ一般住民全員(但し学校や勤務先で定期検診を受ける人は除く)

日時と場所は次のとおりです。

地区	ツバルクリン注射	反応検査レントゲン撮影
大正14日(木)	16日(金)	
末恒2120日(火)	2322日(木)	
松保24日(土)	26日(日)	
大和25日(日)	27日(火)	
賀露26日(月)	28日(水)	
明治2827日(水)	3029日(金)	
面影4日(水)	6日(金)	
湖山87日(土)	109日(火)	

なお、各地区での場所、時間は各区長さんを通じてお知らせします。

月曜日 栗谷線、行徳中通線、小中町線、太平線、一の湯線、新行徳線、末広国道線、若桜街道川端線、湯所国道線、初音線、松並線、川下線、丹後片原線、新町線、寺町線上下、滝山線、立川五丁目、吉方国道線、上町線一部、駅前線、賀露線、今町線

火曜日 掛出線、江崎線、今町(若司線)、一の丸横、永楽線下、大森一、二区、東品治線、瓦町線、明徳線、千代八千代線、川外線下、一の湯線、吉方線、梶川線、若桜線、東町線、湯所線一部、大森三、四区、東西吉成線、稲葉ヶ丘、緑町国道、子安天神線残り、永楽線上、湯所線一部、駅前線、美保線、町線、茶町線、緑町線、川外上、矢津線、今町線

ゴミ集めが早くまりました

清掃職員を増して清掃車も増車してフル運転

水曜日 吉方三、四区、梅翁院線、内吉方町線一部、西町線、上町線一部、子安天神線一部(立一荒木洋服店—山方向)、大工町線、片原線、丸鉄工ウラ、栗谷線、小中町線、末広国道線、新行徳線、瓦町線、西町一部、内町線、三軒屋、初音線、新

木曜日 森永通り(今町大黒座ウラ)、日の丸鉄工ウラ、栗谷線、小中町線、末広国道線、新行徳線、瓦町線、西町一部、内町線、三軒屋、初音線、新

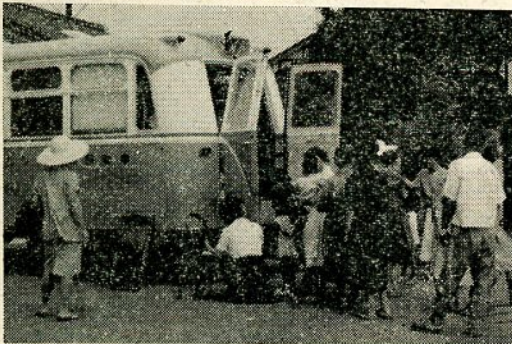
土曜日 内吉方線、吉方三、四区、梅翁院線、永楽線、明徳線、醇風線、大森五区、丸山線、寺町線残り、上町線、片原町線一部、清掃車にゴミの積込がスムーズにできるよう、市民のみなさんの次のようなご協力をお願いいたします。

1. ゴミ箱には必ずフタをし、箱のこわれたものは早く補修してゴミが雨に濡れないようにして下さい。(きれいで軽便で衛生的なポリエチレン容器を斡旋しています)
2. ゴミ箱の下に厚紙等を敷きましょう
3. 台所からのゴミ(魚、野菜、残飯等のくず)はビニール袋に入れゴミ箱に入れてください
4. ゴミはゴミ箱以外には絶対捨てないで下さい
5. ゴミ箱は見えやすい所に置いて下さい
6. ビン類、カラツ類のような燃えないものは、ゴミ箱のそばに別の容器に入れて下さい

全市一せい 清掃デー

街が一段と美しくなつた

健康都市の一環として去る七月二十一日、全市一せい清掃デーが実施されました。この日は早朝から鳥取市美化推進委員会、町内会連合会などの協力により各家の内外の除草、側溝の泥上げ、また、市連合青年団の奉仕に行われ町内街々が一日のうちに大変美しくなりました。



津ノ井駅前でのレントゲン撮影風景

火の用心を一層に

火災件数も激増

酷暑の八月を迎えて去る七月二十一日、この半年間に市内で起った火事を振り返ってみますと54回の出火で二〇〇万円の損害をだしております。

昨年(昭和37年)は42回、一〇五〇万円であった同じ時期にくらべ12回も多い出火で、損害も多くなっております。追いついていません。小さな過失、不注意が大きな火災を招きます。特に九月末までは水の使用量が多いため、水圧も低くなり

第一回 鳥取市公 民館大会開催

市の教育委員会と公民館長会は、青少年の教育の問題、成人教育のあり方、そしてこれからの公民館のすみ方などについて、正しい姿、新しい方向を見いだすためと、市民の皆さんに公民館活動の理解と関心を深めてもらうため、次の要領により、公民館大会を開催します。

期日 昭和38年9月8日(日曜日)
時間 午前10時—午後4時
場所 市立体育館